

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進に係る事業)

平成29年 1月31日

協議会名:河内長野市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画推進事業)

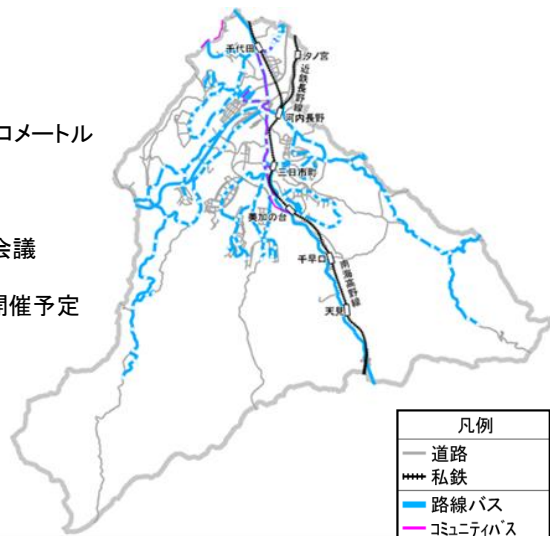
①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
<p>企画乗車券PRチラシ・ポスターの作成</p> <p>・沿線の観光、商業施設等でカードを提示した場合に有効な割引情報等を記載したチラシ・ポスター等を作成・配布し、利用促進やまちの活性化を図る予定。 (参考) チラシA3二つ折 50,000部、ポスターB2 200枚 B3 100枚</p>	A	<p>・事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施される見込み</p>	<p>・特典協力をしてくれる施設や店舗について、バス事業者と共に依頼にまわるなど、数を増やし魅力あるチラシ等の作成を行っていく。 ・また、完成後は、より多くの方にチラシ等を受け取ってもらえるよう、配架施設の充実を図っていく。</p>
<p>地域におけるワークショップの開催【勉強会】</p> <p>・公共交通不便地域である桐ヶ丘地域において、6月、10月、12月と勉強会を開催した。 ・現在、近隣地域も巻き込み、ニーズ調査を行う方向で検討中。 ・現段階では、講師を招へいまでは至っていない。</p>	B	<p>・事業が計画に位置付けられた目標を達成できない見込み(講師招へいまで至らない予定) ・理由として、地域が自らが方向性を考えて行く中において、現時点はニーズ調査という段階であるため(勉強会の方向性がもう少し確定してきた時点で実施する予定)</p>	<p>・地域住民の意識の醸成を図れるよう、今後も引き続き勉強会に参加する。 ・ニーズ調査が進展した後は、第三者である講師を招へいし、地域が抱える課題解決に向けた支援を行えるよう努力する。</p>
<p>地域におけるワークショップの開催【バスの乗り方教室】</p> <p>・市商工祭において、バスを展示し乗り方教室を実施。 ・また、本年度作成した総合時刻表冊子についてのアンケートを実施。</p>	A	<p>・事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された</p>	<p>・次年度においても引き続き、バス事業者の協力を得ながら乗り方教室を実施する。 ・普段バスを利用したことのない子ども連れの家族などに対し、乗り方教室を通じてバスへの理解を促し、今後のバス利用の促進を図っていく。</p>
<p>モビリティマネジメントの実施【くすまる体験乗車】</p> <p>・公共交通不便地域において、新たな公共交通の導入に向けた意識醸成を図るために、地域での勉強会を通じて桐ヶ丘乗合地域タクシー(くすまる)の体験乗車について検討した。 ・議論の結果、地域として、現時点では必要性が無い、とのことであったため、今年度中の実施には至らなかった。 (参考) ・向野町地域 5月、10月 ・桐ヶ丘地域 6月、10月、12月、2月(予定)</p>	B	<p>・事業が計画に位置付けられた目標を達成できない見込み(体験乗車まで至らない予定) ・理由 (向野町地域) 地域の中で、乗合タクシーなどの必要性以前に、レンタサイクルや歩道拡幅など、別の視点での交通対策を考えているため。 (桐ヶ丘地域) 役員の交代はあったものの、前年度に一度体験しており、現在は次の段階(ニーズ調査)に向けた議論に移っているため。</p>	<p>・体験乗車は、地域が主体的に取り組むという意識醸成を図る上で貴重な体験である。 ・よって、今後も地域の実情に応じて、一つの手法としていつでも実施できるよう体制は整えておく。 ・また、公共交通空白不便地域解消の取り組みとして、他地域への拡充も図れるよう併せて取り組んで行く。</p>

計画推進事業の概要

- 計画推進事業の実施経緯
 - ・平成27年度に策定された「地域公共交通網形成計画」に基づき、地域公共交通の維持確保を目的とした利用促進のための事業などを実施。
- 計画推進事業に際しての定量的目標
 - ・公共交通サービスへの不満足度 43.7%⇒40%
 - ・バス年間利用者数 100⇒100
- 計画推進事業を行うエリアの地域特性、公共交通の概要、問題点
 - ・公共交通利用者数の減少
 - ・公共交通空白・不便地域の存在
- 事業内容・事業結果
 - ・企画乗車券の周知・広報(実施見込み)
 - ・地域におけるワークショップの開催(勉強会)(実施時期を延期)
 - ・地域におけるワークショップの開催(バスの乗り方教室)(実施)
 - ・モビリティマネジメント(くすまの体験乗車)(実施時期を延期)

参考資料

- ・河内長野市の概要
 - 【人口】108,488人
 - 【面積】109.63平方キロメートル
 - 【高齢化率】31.8%
 - (平成28年12月末)
- ・河内長野市地域公共交通会議開催状況
 - 【平成28年度】5回※開催予定
 - ※うち2回書面開催



【河内長野市の公共交通網】

具体的取り組みに対する評価

- 公共交通利用促進の取り組みに対する評価
 - ・バス路線の認知度向上や利用機会の拡大に繋がる取り組みとして、沿線観光、商業施設等で企画乗車券を提示した場合の特典等を記載したPRポスター・チラシを作成し、駅、観光案内所、観光施設、公共施設などにて配布する予定。更に今年度は、協賛事業者を増やす予定。
 - ・バスの乗り方教室については、南海バスの協力を得て、普段バスを利用したことのない子どもなどにも広く理解促進が図れた。
 - ・乗合タクシーの体験乗車やワークショップについては、実現には至っていないものの、地域での乗合タクシーの試行運行に向けた自発的な行動を促す機会づくりに努めた。

評価から得られた課題、対応

- 実施事業の今後の対応
 - ・「企画乗車券PRポスター・チラシ」については、特典協力をしていただける施設や店舗の充実を図るべく、バス事業者とも協働で取り組んでいく。
 - ・「地域におけるワークショップの開催」として実施した「バスの乗り方教室」については、次年度においても引き続き、バス事業者の協力を得ながら実施する。
 - ・「モビリティマネジメント」として実施した「楠ヶ丘地域乗合タクシーくすまの体験乗車」及び「講師を招へいするワークショップ」については、今年度中の実施には至らない予定である。しかしながら、地域が主体的に取り組む必要があるという意識醸成を図る上では非常に大切である。したがって、今後も引き続き、地域での勉強会に入り続けながら、いつでも実施できる体制を整えるなど、支援を継続していく。

アピールポイント(特に工夫した点)

- 「企画乗車券PRポスター・チラシ」
 - ・昨年度より路線バス利用者への特典協力をしてくれる施設や店舗を増やす予定。
 - ・観光やまちづくりの視点も十分に入れ、商工会や商店会などの協力も得ながら、魅力あるポスター、チラシを作成する予定。
- 「地域におけるワークショップの開催(バスの乗り方教室)」
 - ・市役所で行われた商工祭において、実際にバスを展示し、アンケートや教室のほか、バスの運転手の制服を着て写真撮影が出来るブースなどを設けることにより、普段バスを利用したことのない子ども連れの家族などに対し、バスに親しみを持っていただくと共に、理解促進を図ることができた。

形成計画への影響

形成計画に掲げている目標の1つとして「将来のまちづくりを支えるための公共交通サービスの提供」があり、その中において「バスマップの作成・配布」「観光資源と路線バスを活用した取り組みの実施」「モデル的な取り組みの他地域への啓発」「地域に合った公共交通の試行運行を検討」といった事業を実施または実施する見込みとなった。